

平成21年度 特例民法法人 岐阜県臨床検査技師会  
第2回定期総会 議事録

1. 開催日時

3月7日（日） 13：30－16：25

2. 開催場所

岐阜市民病院 4階講堂

〒500-8323 岐阜市鹿島町7-1

3. 出席正会員数

564名（当日出席者 42名、委任状 522名）

4. 議案

- (1) 第一号議案 平成22年度 事業計画案について  
総括 學術部 精度保障部 組織調査部  
広報宣伝部 事務局
- (2) 第二号議案 平成21年度中間会計報告及び監査報告
- (3) 第三号議案 平成22年度予算案について
- (4) 第四号議案 会費の改正について
- (5) 第五号議案 任期満了に伴う役員改選について

5. 進行

- 1) 開会の辞 永井 正信 副会長
- 2) 司会者 西村 孝 庶務部長
- 3) 会長挨拶 北村 顕 会長
- 4) 議長選出

議事に入る前に出席者に対して議長の選任について選出方法を募った。  
会場内より司会者一任の声があり、司会者は議長として次の2名を指名した。  
司会者に対して議長の承認を求めた結果、満場一致の承認を得た。

議 長 平沢 弘行（岐阜県総合医療センター）  
伊藤 秀明（岐阜市民病院）

5) 総会役員の選出

議長により書記2名、資格審査委員7名、議事録署名人2名の指名があり、会員の承認を求めた結果、満場一致の承認を得た。

総会役員を下記に示した。

書 記 多和田 嘉明（東海中央病院）  
松浦 康博（株式会社メディック）

資格審査委員

岐阜地区 玉置 佳澄（岐阜赤十字病院）  
松山 昌史（岐阜市民病院）  
西濃地区 森 仁美（揖斐厚生病院）  
飛騨地区 藤木 誠（下呂温泉病院）  
中濃地区 三輪 洋嗣（中濃厚生病院）

青木 雄一郎（鷺見病院）  
東濃地区 山本 将毅（土岐市立総合病院）  
議事録署名人 一柳 好江（岐阜市民病院）  
西村 孝（岐阜大学医学部附属病院）

## 6) 資格審査報告

資格審査委員の玉置委員より総会出席者および委任状提出会員の資格審査報告がなされた。正会員数 726 名中、出席会員数 42 名、委任状提出者 522 名で合わせて 564 名で過半数以上となり本会・定款 23 条により本総会が成立したことが報告された。

これにより議長は総会の成立を宣言し、審議に入る事とした。

## 7) 議案審議

議案書に基づいて審議を行った。

第一号と第二号議案を伊藤秀明議長、第三、四および五号議案を平沢弘行議長が担当された。

### (1) 第一号議案

#### ①平成 22 年度事業計画案について

##### 1) 総括

北村会長より説明があった。

事業計画案の要約は下記の通りである。

- ・法人認定への検討及び準備  
公益法人（50%以上の公益事業が必要）か一般法人かは検討する。
- ・精度管理保障部の事業推進
- ・研修会、研究会、講習会の開催
- ・関連学会への積極的な支援
- ・岐阜県臨床検査技師会会誌の発行
- ・岐臨技会報の発行
- ・岐臨技ホームページの充実
- ・地域保健事業への積極的な参加
- ・組織の実態調査
- ・日臨技技師連盟への積極的な支援
- ・日臨技公益事業活動への参加
- ・日臨技と都道府県技師会共済事業の展開
- ・医療安全推進週間に合わせて研修会

##### 2) 学術部

近藤学術部長より学術部の事業計画説明があった。

- ・会員の要望が多かった、認定制度について取り組んで行きたい。  
各研究班長が企画して、認定を習得できる勉強会、講習会を開催したい。
- ・県学会（3月開催予定）は会計予算の関係で延期させて頂いている。
- ・春季と秋季の拡大研修会においても、会計予算の関係で開催の有無を検討中。  
その分、各研究班活動を充実して行きたい。

- ・学術誌の発行について来年度は行って行きたい（今年度は発行できなかった）。
- ・班長会議は 15 万円の予算を組み、研修会の企画、各研究班の連絡、理事会の連絡を行う。

### 3) 精度保障部

田中精度保障部長より説明があった。

- ・運用予算は 182 万円を見込んでいる（精度管理参加施設費 82 万円、報告会参加費 20 万円、岐臨技からの補助金 80 万円）。
- ・報告書の作成（賛助会員の広告を入れる）、プール血清の作成は行っていく。
- ・日臨技の標準化調査を年 3 回行っていたが、平成 22 年度は 2 回とする。(????)
- ・精度管理調査については例年通り 1 回とする。
- ・おもな精度管理調査は日臨技、日医、および岐臨技があるので、岐臨技として日臨技のデータをうまく利用できないかの会員意見がある。  
この件については検討を行う。
- ・調査項目は縮小の方向で見直し、実施しない項目も 3 項目を決めている。  
実施しない項目は日臨技、日医が行っているのを考慮して決めた。
- ・日臨技の標準化調査は 3 年計画の実施を終えて、4 年目に入るが今後の具体的な計画は発表されていない。近く会議が開催されて計画が報告されるが、各県の動向をみて事業を縮小するかどうか検討していく。
- ・報告会は会場費が無料の施設（岐阜赤十字病院講堂）、会議は岐臨技事務所で行う。
- ・標準化事業は 3 年事業の執行が終了したので、QC リンクスは解約した。
- ・QC リンクスのサーバーを利用して集計作業を行っていたが、解約したのでサーバー利用料は無くなる。
- ・標準化調査の報告書については、従来日臨技の形式に準じていたが今後は岐臨技の形式になり、電子媒体での報告を考えている。

### 4) 組織調査部

石郷組織調査部長より説明があった。

- ・予算は地区活動費を昨年度の 1 地区 3 万円から 2 万円に減額とし、その分について会員調査に使用する組織調査費を 9 万円から 10 万円に増額した。予算額としては前年度と同等とした。
- ・今回の議案で会費の値上げが承認されれば、組織運営規定の会費金額を改則する。
- ・役員規定で選挙管理規定がないので見直しを行う。

### 5) 広報宣伝部

鈴木広報宣伝部長より説明があった。

- ・会報は昨年度と同様に発行を計画している。
- ・名簿は発行予定で予算を組んでいる。

## 6) 事務局

西村庶務部長より事務所の運用について説明があった。

平成22年度においても、専任事務員による事務業務を行っていく。

- ・各研修会案内等の発送（原則毎月20日に発送）。
- ・各委員会の案内と委任状の送付（主に電子メールで運用）。
- ・事務局で行う会議予定の管理（会議資料の準備、弁当の手配）。
- ・会員、日臨技、各種団体からの問い合わせ対応（必要に応じて会長、各理事に通知）
- ・日臨技、各種団体からの文書管理。
- ・施設会員、自宅会員、賛助会員名簿の作成。
- ・会費の管理（請求、入金管理）。
- ・各委員会委員の旅費、日当の算出と支給。

### (2) 第二号議案 平成21年度中間会計報告および監査報告

始めに平成21年度中間会計報告について西山会計部長より説明があった。

平成21年4月1日から9月30日までの中間会計報告をされた。

#### ○消費収入について

消費収入合計は1052万917円で内訳は下記の通り

- ・会費収入が640万5000円
- ・交付金収入が72万4632円
- ・事業収入が183万5445円
- ・受取寄付金収入が150万円
- ・雑収入として5万5840円

#### ○消費支出について

消費支出合計は895万5432円で内訳は下記の通り

- ・管理費支出が282万3603円
- ・事業費支出が234万9579円
- ・負担金支出（日臨技会費）が376万7250円
- ・会費支出が1万5000円

#### ○財産目録について

- ・流動資産合計として380万565円  
内訳は現金預金48万6565円、日臨技会費331万4000円
- ・固定資産合計として609万2972円  
内訳は土地49万800円、建物（事務所）448万1672円、備品112万500円
- ・資産合計は989万3537円になる。
- ・負債合計は789万3410円になる。  
内訳は日臨技会費未払い金75万2000円、  
精度管理QCリンクス使用料112万870円  
日臨技交付金60万1540円、岐臨技会費541万5000円。
- ・差引正味財産としては200万127円になる。

つづいて中村監事より平成21年度中間会計監査報告をされた。

平成21年度中間会計の予算執行は適正であり、収入支出台帳、各帳簿並びに領収書等に各証拠書類の整理及び管理は適正に行われている事を認めたとの報告があった。以上の報告に対して、議長は第一号および第二号議案の審議を求めた。

**(質問) 平成19年度と20年度の未払い金はいつ支払うのか説明してほしい。**

牛丸会計士から説明があった。

- ・翌年度に現金で支払うが、会計報告書としては財産の減収として表記をし、翌年度の支出費用には掲載しない。運用の問題として、前受金は次年度の事業に使用するものであるが、前年度の事業の支出にも使われていた。

**(質問) 平成19、20、21年度の日臨技会費の未払いが残っている理由はどうしてか。**

- ・送金チェックが漏れていたのと、請求が最近来たため。
- ・平成22年3月31日までには支払うようにする(山本副会長)。
- ・現在の会計収支集計では未払い金をすべて支払うと、75万円の負債になるが、3月31日までには0円にするよう努力をしていく(北村会長)。

**(質問) 精度管理の事業は予算的に厳しいと思うので1~2年間は中止をしたらどうか。**

田中理事から答弁があった。

- ・各都道府県でも中止をした例はなく、なんとか経費の節減を考えて精度管理を続けてほしいとの意見も多くでていたので、継続の方向で進めていきたい。
- ・会員からは県医師会の協力を得てみてはどうかの助言があった。
- ・参加施設の参加費の中で、精度管理調査を行える努力をしてほしい。たとえば、インターネット上にPDFでの報告書作成を行い、各参加施設がホームページから印刷を行う方式にして費用の縮小を考える等の意見が出された。
- ・木村氏(岐阜赤十字病院)の意見  
検体検査として、標準化・基準化の大事な時期に来ており、データの共有化の方向で全国的に進んでいる。全施設がデータの共有化の受益を受けることになり、プール血清を作ってまで実施されている役員の皆様には感心させられる。1年でも休むと1歩も2歩も後退して、岐阜県は取り残されてしまう危惧を感じるとの意見であった。
- ・一柳氏(岐阜市民病院)の追加意見があり、病院の倫理委員会で許可を取り、当院の検査部技師が日常業務の間を惜しんでプール血清作成の協力をしている事を知ってほしいと述べられた。
- ・精度管理事業は岐臨技の会員数に見合った内容で行ってほしいとの意見があった。  
愛知県のような2,000人の会員数の事業は無理なので、700人規模の事業を行う。  
これらの意見を踏まえて、田中精度保障部長は精度管理事業を継続したい旨の審議を求められ、会員は拍手をもって賛同した。

以上の審議を終えて、議長は第一および二号議案について拍手による採決に入った。結果、拍手多数により第一および二号議案は原案通り成立した。

### (3) 第三号議案 平成22年度予算案について

西山会計部長から説明があった。

岐臨技会費が10,000円としての予算案であることを初めに述べられた。

○収入額は1708万5000円で、おもな内訳は次の通り。

- ・会費収入として1477万5000円（690名の会員を見込んでいる）。
- ・日臨技の交付金収入30万円。
- ・事業収入201万円（広告10万円、研修会21万円、精度管理参加費170万円）

○支出額は1642万円で、おもな内訳は次の通り。

- ・管理費468万円（事務所運営費330万円、会議費100万円、法人費20万円）。
- ・事業費458万円（学術費170万円、組織調査費20万円、広報事業費70万円、精度管理調査費180万円）。
- ・負担金716万円（日臨技会費696万円、中部技師会費17万円、友誼団体費3万円）。

○差引額は繰越金として66万5000円を見込んでいる。

この説明に対し、議長は審議を求めた。

**(質問) 前期繰越金収入が空欄ですが、どういうものか説明をしてほしい。**

前回収支決算において特別会計からの繰越金を示している。

前年度から一般会計に取り入れているので、今年度からは無しとなる。

**(質問) 精度管理調査事業で1～2回休止すると、レベルが落ちると言われたがその真意を教えてください。**

会長から答弁があった。実施するとしないでは、モチベーションが違う。一度休止すると立ち上がれなくなる事に危惧を感じている。ある程度きちんと続けて行かないといけない。

同じ質問者から追加意見として、参加費収入の中で精度管理調査は行ってもらうのは良いが、若い技師からは技師会に魅力が無いとの意見がある。各研究班の活動にも力を注いで、魅力ある技師会にしてもらいたいと言われた。

**(質問) 精度管理参加収入が前年度82万円から170万円になっているが、1施設あたりの参加費を2倍にするのかどうか説明をお願いします。**

参加費は値上げをすることは考えていない。前年度と同じ参加費で実施する。

精度管理調査参加費は前年度と同様の参加数として80万円。この金額にプラスして精度管理調査報告会の参加費20万円、岐臨技からの予算70万円を計上して170万円となっている。

**(質問) 交付金収入が187万から30万に激減している理由はなにか。**

日臨技からの交付金収入であるが、日臨技が公益法人の申請をしており、交付金の名称から寄付金の名称へ変更になる。来年度については交付金の給付が流動的であるので、今回は予算のなかに繰り入れなかった為。

山本副会長から追加説明として、市民公開講座の助成金は来年度から無くなるが、エイズ、生活習慣病および乳癌撲滅キャンペーンの公益事業助成金については継続して行われる予定。

**(質問) 平成 22 年度予算額について、福祉事業費の前年度予算額が 97 万円になっている説明を求められた。**

この金額については 10 万 7000 円の入力間違いであった事の答弁がなされた。

- ・平成 19 年度及び 20 年度の予算額の数字が違っており、もう一度数値の再確認をしてほしいとの会員意見があった。
- ・会計調査委員の遠藤委員長より助言があり、作成した人しか確認をしていないと思われます。今後は理事会で多くの理事の確認を行うチェック体制をして頂きたいとの意見を述べられた。

以上で第三号議案の審議が終了した。

議長は第三号議案（平成 22 年度予算案）については、資料の修正を行って、改めて正式な予算案を作成する事とした。

#### **(4) 第四号議案 会費の改正について**

北村会長より説明があった。

- ・事務所運営費用は年間 261 万円余り(平成 20 年度)であり、この支出は今後継続的に見込まれる。
- ・執行部として、理事数の削減、各事業部経費の削減、日臨技共催事業への積極的参加により費用の削減に努力してきた。
- ・しかし、岐臨技会費は年間 375 万円(750 名×5,000 円)であり事務所運営費を差し引けば約 100 万円となる。
- ・この状況では、会計調査委員会からの提言を踏まえての事業の執行は、不可能な状況にある。
- ・岐臨技の運営を正常化するには、5,000 円の値上げをし、日臨技会費 10,000 円+岐臨技会費 10,000 円とすることを提案され、会員の理解を求められた。

この説明に対して会員からの意見があった。

**(質問) 岐阜県だけ突出した会費ではないか知りたいので、近隣の会費・県内のコメディカルの会費を教えてください。**

北村会長から答弁があった。

三重県は 10,000 円、愛知県は 5,000 円、静岡県 1460 名で 5,000 円となっている。補足として山本副会長から説明があり、山口県は会員数 718 名で 8,000 円、宮崎県は会員数 366 名で 8,000 円、県内のコメディカルとして、放射線技師会は 10,000 円になっている。

**(質問) 5,000 円会費の値上げを行って、運営が十分に行えるか教えてください。**

また、予算を縮小して運営が行えるようにしてほしいとの意見が提案された。

北村会長から答弁があった。

今回、会費 5,000 円値上げしたときの予算案を示したが、会員皆様の良いアイデア・意見を取り入れ、この予算案をたたき台として修正を行って行こうと思います。検討修正を行った上、6 月の総会できちんとした予算案を示します。

**(質問) 入会金の値上げは考えていませんか。**

会長より、できるだけ多くの検査技師の人が会員になってほしいので、入会金はそのまま値上げは考えていないとの答弁であった。

現行では岐阜県は500円、日臨技は2000円となっている。

- ・次世代の技師の為に、会費の値上げを了承して、会の存続をして行くべきとの意見も出された。
- ・事務所を開設する年度に会費の値上げを検討すべきではなかったかの意見があった。

以上の審議を踏まえて、議長は第四号議案「会費の値上げ」についての採決を求めた。反対の会員数（反対意見の委任状を含む）は12名、総会出席会員数は564名（総会出席者42名、委任状522名）、正会員総数が726名であることから、76%が賛成となり過半数以上になる。議長は改めて賛成会員の拍手による承認を求めた。その結果、拍手多数により第四号議案「会費の値上げ」は承認された。

**(5) 第五号議案 任期満了に伴う役員改選について**

兼子役員推薦委員長より説明があった。

平成22年2月27日に岐臨技事務所で役員推薦委員会を開催し、役員の推薦を行った。

1) 会長・副会長・監事の推薦

- ・会長（1名）北村 颯（久美愛厚生病院）
- ・副会長（2名）永井 正信（久美愛厚生病院）
- ・監事（2名）牛丸 正詞（会員外：公認会計士）  
※副会長1名は山本 初津恵 副会長の推薦があったが、同氏の辞意が固く断念した。
- ※監事1名は中村 秀博 監事の推薦があったが、同氏の辞意が固く断念した。

2) 地区理事の推薦

- ・岐阜地区（4名）多和田 嘉明（東海中央病院）  
平沢 弘行（岐阜県総合医療センター）  
金森 妙子（岐北厚生病院）  
松山 昌史（岐阜市民病院）
- ・西濃地区（2名）森 仁美（揖斐厚生病院）  
林 博美（メディック株式会社）
- ・飛騨地区（2名）梶屋 孝二（高山赤十字病院）  
上垣内 勇（久美愛厚生病院）
- ・中濃地区（2名）宮内 隆昌（八幡病院）  
平塚 弘江（岐阜社会保険病院）
- ・東濃地区（2名）渡辺 徳子（岐阜県立多治見病院）  
南谷 篤紀（東濃厚生病院）

3) 次期役員推薦委員

- ・岐阜地区（2名）森 さゆり（岐阜中中央病院）

- 近藤 敦司 (東海中央病院)
- ・西濃地区 (2名) 臼井 信雄 (大垣徳州会病院)
- 日比 敏男 (大垣市民病院)
- ・飛騨地区 (2名) 林 孝次郎 (陽光診療所)
- 舟橋 純子 (ファルコバイオシステムズ飛騨株式会社)
- ・中濃地区 (2名) 三輪 洋嗣 (中濃厚生病院)
- 内田昌孝 (加茂医師会立総合保健センター)
- ・東濃地区 (2名) 堀部 充代 (土岐市立総合病院)
- 平林 由美子 (上矢作病院)

※欠員の役職は、決まるまで現役員が執行する。

これにより、平成21年度第2回定期総会でのすべての議案審議が終了し、議長は本総会役員を解任した。

閉会の辞 (山本副会長)

議 長 印

議 長 印

議事録署名人 印

議事録署名人 印